



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成30年11月号】

冷え込みが日ごとに増します

《重点目標》 『品格を高め、目標に向かってねばり強く取り組もう』

第2学期の期末テストが、今月の19日(月)～20日(火)の2日間で行われます。第2学期の成績は中間・期末テストや各単元の確認テスト、豆テスト、そして日々の授業の活動や授業態度、提出物などから総合的に評価されます。生徒の皆さんの進路に関わる調査書は、1年生からの評価がすべて反映されます。そして、3年生の「県立高等学校I期選抜」における調査書の第3学年の評定は、12月末までのものを記入することになっております。大切な第2学期の期末テストに向けて、頑張らせたいと思います。

【効果的な勉強法 勉強10則】

アメリカの心理学者が、効果的な勉強法について専門家の意見を100以上集めました。専門家達が重要だと考えるものは、次の10項目だったそうです。



- 1 決まった時間に決まった場所で決まった科目を勉強する。
- 2 どんな時でも自分ひとりで勉強するという気持ちで勉強する。
- 3 勉強したことは、必ずノートに取っておく。
- 4 勉強中、気がちらないようにする。
- 5 学習のよい環境をつくる。
- 6 本は詳しく読む前に、全体をざっと読む。
- 7 本はできるだけ早く読めるようにする。
- 8 勉強したら、その後すぐに暗誦してみる。
- 9 いつも課題をもって勉強する。
- 10 勉強した内容を誰かに教える気持ちで声を出して説明してみる。

お子様の家庭学習の指導の参考にしてみては、いかがでしょうか。

【県PTA研究大会への参加】

喜多方市で開催された「第66回福島県PTA研究大会喜多方大会」に阿部PTA会長と渡辺校長で、参加しました。

特に、参加した第2分科会では、「SNSはじめ情報化社会の中での親子のありかた・保護者及び教師の子どもへの関わり方はどうあるべきか」という内容で、喜多方市立山都小・中学校PTAの方々より、実践発表があり、「メディアセレクト週間」の設定や「うちどくカードで家族団らん」に繋げる発表がありました。さらに、「e-ネットキャラバン講師の諏江正義氏」より講演がありました。



午後には、全体会があり、会の終盤には次期開催地である南相馬市を代表し、渡邊相馬地方PTA連絡協議会会長より、挨拶を頂戴し意気込みを会員の方々にお示しいただきました。



火災を出さない

秋季全国火災予防運動が、平成30年11月9日(金)から11月15日(木)までの7日間に実施されます。平成30年度全国統一防火標語は、『忘れてない? サイフにスマホに火の確認』です。

以下の「住宅防火いのちを守る7つのポイント」を皆さんで気を付け、火災を出さないように努めたいものです。

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



【です。ます。】今 使えるように!

「敬語が使えない。正しい言葉が使えない。」これが、最も顕著に出るのが高校受験の際の面接のようです。3学年でも面接の練習を行います。日常生活で使用している生徒にはかきません。やれても不自然さが現れてしまいます。

言葉遣いを適切にし、日常生活で使えるようにさせたいものです。ごく簡単に、誰でもすぐに変えられる言葉遣いは。例えば、返事の時は「はい。」「いいえ。」日常の会話の時、語尾に「です。」「ます。」を付ける。これだけで、言葉遣いが丁寧になり、印象がよくなります。試してみてください。「はい。いいえ。です。ます。」たったこれだけです。

消防庁

「平成30年秋季全国火災予防運動実施要綱」より